

授業科目 NO. 807 地域母子保健活動論

Community Maternal and Child Health Activity

授 業 の 形 態 : 講義
単位数 (時間数) : 2 単位 (30 時間)
開講年次・学期 : 4 年次・前期
必修・選択の別 : 選択・助産師選択コース必修
キ ー ワ ー ド : 地域、母子、助産師活動

1 金沢医科大学看護学部への到達目標 (全科目共通です)

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

2 学 習 目 標

1) 一般目標 (GIO)

地域で生活する母子とその家族が妊娠から産褥・育児期までを安全・安心・快適に過ごすために必要な知識及び助産師活動の具体的な方法を修得する。また、多様な社会の変化に伴い、産後うつや虐待等の支援として、地域における子育て世代を包括的に支援する能力を高める。

2) 行動目標 (SBO) ※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部への到達目標との関連を示す。

- (1) 地域で生活する対象が妊娠から産褥・育児期までを安全・安心・快適に過ごすために必要な知識及び援助内容を理解できる。(②③)
- (2) 地域における助産師活動に必要な助産診断及び助産技術を展開できる。(②③)
- (3) 地域母子保健活動の現状と課題を理解し、助産師の役割について考察できる。(①②③④)
- (4) 地域で母子を取り巻く支援において、多職種がどのように連携しているか理解できる。
(①②③)

3 学 習 内 容

授業の内容については、授業計画に示す。

4 評価

評価項目	評価割合
定期試験成績	50%
実習成績	
レポート	20%
授業態度	
小テスト	
口頭試問	
その他	30%
合計	100%

(特記事項) その他は、事例展開 20%、実技演習 10%をルーブリック評価とする。

5 教育担当者

科目責任者： 三反崎 宏美

嘱託准教授 北濱 まさみ (母性看護学・助産学)
講 師 三反崎 宏美 (母性看護学・助産学)

6 教育担当者の実務経験

担当教員は、看護師・助産師として周産期医療機関における実務経験を有している。

7 教科書

1) 我部山キヨ子：助産学講座 9 地域母子保健・国際母子保健、医学書院

8 推薦参考書

- 1) 北川真理子、内山和美 (編)：今日の助産 マタニティサイクルの助産診断・実践過程、南江堂
- 2) 公益社団法人 日本産科婦人科学会、公益社団法人 日本産婦人科医会(編)産婦人科診療ガイドライン 産科編 2023
- 3) わが国の母子保健 令和 3 年、母子衛生研究会 (最新)
- 4) 国民衛生の動向 2024/2025 Vol71.No9、厚生労働統計協会

9 準備学修に必要な時間及び具体的な学習内容

- 1) 授業 1 コマにつき、事前学修・事後学修として計 60 分程度必要である。
- 2) 周産期の診断及び助産実践に必要な知識について、
 - ・公益社団法人 日本産科婦人科学会、公益社団法人 日本産婦人科医会(編)産婦人科診療ガイドライン 産科編 2023 (https://www.jsog.or.jp/activity/pdf/gl_sanka_2023.pdf)
 - ・エビデンスに基づく助産ガイドラインー妊娠期・分娩期・産褥期 2020 (https://www.jyosan.jp/uploads/files/journal/JAM_guideline_2020_revised20200401.pdf) にアクセスして、コンセンサスが得られた適正な標準的助産診断・管理法を理解し、ノートにまとめておくこと。

- 3) 厚生労働省 子ども家庭局母子保健課、2022 年最近の母子保健を取り巻く状況
(<https://www.jfpa.or.jp/boshi.pdf>) にアクセスし、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない
支援についてノートにまとめておくこと。

10 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

- 1) レポートについては、提出後に直接コメントし、フィードバックする。
- 2) 課題（事例展開）に関しては、評価表を基に到達度や課題をフィードバックする。内容は、事例を授業の中で提示する。

11 履修上の注意事項

- 1) 事前学修をしっかりと授業に臨むこと。
- 2) 事後学修をして理解を深めること。

12 オフィスアワー等

質問は随時可。ただし事前にメール連絡等することが望ましい。

三反崎 E-mail : mitasaki@kanazawa-med.ac.jp

第4学年

地域母子保健活動論

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	レポート/小テスト等	講座・科目群名	教員名
前	1	4月04日(金)	1	講義	授業のガイダンス 地域母子保健の概念と活動の意義 近年の社会の変化		母性看護学・助産学	三反崎講師
前	2	4月04日(金)	2	講義	近年の地域母子保健活動の変化 統計からみた母子保健の動向 地域母子保健を支える法律と施策		母性看護学・助産学	三反崎講師
前	3	4月11日(金)	1	講義	地域母子保健の基盤 (地域包括システム)		母性看護学・助産学	三反崎講師
前	4	4月11日(金)	2	講義	母子保健における行政の体系と役割		母性看護学・助産学	三反崎講師
前	5	4月18日(金)	1	講義	母乳育児の変化 産後の母乳育児支援 起こりやすい母乳育児トラブル		母性看護学・助産学	北濱准教授
前	6	4月18日(金)	2	講義	母乳育児の変化 産後の母乳育児支援 起こりやすい母乳育児トラブル	保健指導案作成 (レポート)	母性看護学・助産学	北濱准教授
前	7	4月25日(金)	1	講義	地域母子保健活動における助産師の 役割と多職種連携について		母性看護学・助産学	三反崎講師
前	8	4月25日(金)	2	講義	特定妊婦の特徴と対応について 産後うつ病の妊婦、褥婦への対応について		母性看護学・助産学	三反崎講師
前	9	5月02日(金)	1	演習	地域における母乳育児支援		母性看護学・助産学	北濱准教授
前	10	5月02日(金)	2	講義	地域における助産師活動の展開 妊娠期～分娩期に求められる支援 (助産診断)	課題(事例展開)	母性看護学・助産学	三反崎講師
前	11	5月09日(金)	1	講義	2週間健診・1ヶ月健診について保健 指導案作成	保健指導案作成	母性看護学・助産学	三反崎講師
前	12	5月09日(金)	2	演習	2週間健診・1ヶ月健診について保健 指導案作成(練習含む)	保健指導案作成 (レポート)	母性看護学・助産学	三反崎講師
前	13	5月30日(金)	1	演習	2週間健診(1ヶ月健診)の実技演習	課題(事例展開・実践)	母性看護学・助産学	三反崎講師, 北濱准教授
前	14	5月30日(金)	2	演習	2週間健診(1ヶ月健診)の実技演習	課題(事例展開・実践)	母性看護学・助産学	三反崎講師, 北濱准教授
前	15	6月03日(火)	2	演習	・地域における助産師活動の展開 子育て期に求められる支援(助産診断) ・保健指導実施後の指導案の評価	課題(事例展開) 指導案作成	母性看護学・助産学	三反崎講師